

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	環境保全対策の推進	実施期間	平成27年度	テーマ	環境	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>限りある資源の有効活用および省資源・省エネの観点から、温室効果ガスの排出抑制に努めていくため、本市域および本市は、「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」や「宇治市地球温暖化対策実行計画」において、1990年（平成2年）度比で温室効果ガス10%削減を目標に各種取り組みを進めている。</p> <p>そのため、市自らが率先して行動することにより、また、市民の取り組みを推進していくために各種事業を展開・助成し、地球温暖化防止のための対策を講じていく必要がある。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>因果関係は明確ではないものの、地球温暖化の影響ではないかと考えられる異常気象や災害は増加傾向にあり、本市においても平成24年8月の南部地域豪雨や平成25年の台風被害など、大きな災害を経験しているところである。地球規模での貴重な資源の有効的な活用を図るとともに、異常気象等の抑制などの観点からも各種事業を展開する。</p>						
	総事業費（千円）	58,974	本年度事業費（千円）	58,974	交付金額（千円）	7,835	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	次世代自動車等整備事業	交付対象事業	環境に配慮した低燃費自動車の導入・普及促進を図る。		ハイブリッド塵芥車（2tプレス式）：4台購入		
	公共施設温室効果ガス削減対策事業	交付対象事業	市民利用の多い公共施設等の温室効果ガスの削減を図り、市民への啓発を推進する。		市の公共施設15施設で計458台の照明をLED化 年間節電効果：85,950kwh CO2削減量：26.7t-CO2		
	街灯LED化事業	交付対象事業	節電及び温室効果ガス排出量の削減を目的として市内街灯のLED化を実施する。		公共施設のLED化：3,261灯		
	源氏ゆめほたる事業	交付対象事業	植物公園内に蛍が永続的に生息できる環境を整備することにより、自然環境の保全の大切さの普及・啓発を図る。		夜間入園者：13,352人		
住民 協働 事業	緑のカーテン推進事業	交付対象事業	市民および事業者が身近な地球温暖化対策として取り組むことのできる「緑のカーテン」の普及・促進を図る。		市庁舎、小学校（4校）、幼稚園（4園）、保育所（6園）、中学校（5校）、その他公共施設（12施設）、商店街（1ヶ所） 各幼稚園、小・中学校において、園・校内の緑化運動や、ごみの分別、ペットボトルのエコキャップ回収運動、節電・節水など、環境に配慮した学習や活動を実施した。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

	地球温暖化対策推進パートナーシップ事業	交付対象事業	家庭から排出される温室効果ガスの削減を目的に市民・事業者・行政が協働し地球温暖化防止活動を全市的に普及・啓発を図る。	身近で楽しみながら実践できるエコイベントの実施 イベント参加者：2,000人以上 広報誌：年4回発行、総計3,000部
住民が取り組む事業				
成果指標 ①	成果指標の目標数値	宇治市の事務・事業の温室効果ガスの削減目標 平成25年度：15,329t-CO2→平成29年度：14,090 t-CO2 (平成27年度：14,387t-CO2)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点) 平成27年度：14,695t-CO2
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 目標数値を達成できたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標 ②	成果指標の目標数値	リサイクル率 平成24年度：21.1%→平成30年度：28% (中間目標の設定はないが、概算で、年平均1.15%増のため平成27年度：24.6%程度)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点) 平成27年度：22.6%
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 古紙類回収量が減少しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標 ③	成果指標の目標数値	LED灯設置 平成27～31年度：約15,700灯(約3,200灯/年)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点) 公共施設のLED化：3,261灯
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 目標数値を達成できたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標 ④	成果指標の目標数値	家庭用雨水タンク 平成27年度：約100基設置		成果指標の実績値 (28年3月31日時点) 平成27年度：81基
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 1基あたりの補助単価が当初の想定を上回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p>	<p>①③公共施設、街灯のLED化により温室効果ガスの削減を図ることができた。 ②平成27年1月からプラマークの分別収集を開始、新たな分別をはじめることによりリサイクル率が好転すると考えている。また、市民がごみを分別する際に、約1,300の品目の処分方法を記載したごみ分別辞典を活用して正しくごみを分別することで、リサイクル率の向上につながると考えている。 ④効果検証を行いながら整備を図っていく。</p>	
<p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>イベントを通じて多くの参加者に都市緑化の必要性を市民に認識してもらうことができ、さらに植物公園の魅力を伝え、入園者増につなげることができた。 プラマーク分別収集開始に伴う啓発活動、ごみ分別辞典の発行はリサイクルの推進に資するものと考えている。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>プラマーク分別収集開始に伴う啓発活動やごみ分別辞典の発行により、市民のごみの分別への理解が深まり、リサイクルへの意識の向上につながると考えている。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>緑のカーテンを設置した世帯においては、冷房の使用頻度が減ることで、市域内の温室効果ガス排出量の削減に寄与した。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	
	<p>行財政改革に資する成果</p>	
	<p>その他の成果</p>	<p>市庁舎はモデル事業所として率先してCO2削減に取り組む必要があり、順調に成果を継続している。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	安全・安心なまちづくりの推進		実施期間	平成27年度	テーマ	防犯・防災	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	過去の痛ましい事件を教訓とし、「宇治市安全・安心まちづくり条例」に基づき、地域の自主的な取り組みを支援しつつ、市民の防犯意識の更なる向上を図り、警察や防犯推進団体等と協働し、啓発活動を初め、各種取り組みを継続している。 また、近年の災害を踏まえ、各地域における自主防災組織の育成を支援するとともに、各地域において防災出前講座を開催し、また、防災訓練・防災資機材の充実などを通じて地域防災力の向上を図る。							
プロジェクトの目的及び概要	安全・安心なまちづくりには、地域住民の協力が不可欠であり、地域主体の取り組みに対し助成する形で地域力の向上を図り、市民一人ひとりが安心できる環境の整備を図っている。							
	総事業費（千円）	109,558	本年度事業費（千円）	109,558	交付金額（千円）	39,281		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	防犯カメラ等設置事業	交付対象事業	宇治市防犯協会・宇治市交通安全協会からの寄付により、新たに12台の防犯カメラを設置した。また、地域住民との見回り等により、暗所をなくし犯罪の未然防止を図った。加えて、自治会等からの要望により、街灯の新設及び維持管理を行った。			鉄道駅周辺を中心に防犯カメラを12台設置した。既存のものを含め、14台が稼働中。		
	街灯設置事業	交付対象事業	自治会等からの要求に基づき、街灯の新設及び維持管理を行う。 定期的な点検及び市民からの通報などにより、早期に修繕を行い暗所をなくし犯罪の未然防止を図る。			街灯設置：27カ所		
	避難所等安全確保事業	交付対象事業	市内各公共施設に「AED」を設置し、心肺停止傷病者に対して即時対応できる体制を築く。			市内87台のAEDの維持管理を実施、市民の救命率向上に努める。		
	自転車放置防止対策事業	交付対象事業	駅周辺の放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、安全な歩行者動線の確保を図る。			撤去台数：517台 売却台数：228台 返還台数：244台		
	防災対策推進事業	交付対象事業	災害発生時に迅速に対応できるよう、避難所の備蓄施設等を整備するとともに、地域防災力の向上を図る。			防災無線等の機器・設備等の保守点検を実施 防災備蓄倉庫の設置 自主防災組織の訓練・資機材の購入補助		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

住民協働事業	教育施設等安全対策事業	交付対象事業	安全・安心な教育環境の確保のため、見回りやカメラの監視などにより、不審者対策等を徹底する。	<p>小学校（22校）、中学校（10校）、幼稚園（3園）で合計135名の学校運営支援員を登録し、半日（4時間）以上の活動を延べ13,486回行い、学校（園）における安全管理体制の強化を図った。</p> <p>保育所安全運営支援員の配置を、公立保育所（7園）、民間保育所（19園）及び分園（2園）で実施し、安全・安心な保育所運営を図ることができた。</p> <p>通学路へ交通指導員を配置</p> <p>安全対策支援員（1日4時間程度）を学校休業日に配置し、校内への不審者の侵入を防ぐため、巡視や来校者の確認を実施した。</p>	
	住民が取り組む事業				
成果指標①	成果指標の目標数値	自主防災組織の組織率 平成25年度：66.6%→平成29年度：75% （平成27年度：69.6%）		成果指標の実績値 （28年3月31日時点）	平成27年度：69.9%
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	自主防災組織率が上昇し、新たな地域の防災力向上を図ることができたものの、町内会が結成されていない地域での防災力向上ができていない等の課題がある。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	防犯カメラ設置箇所 平成27年度：13台		成果指標の実績値 （28年3月31日時点）	平成27年度：12台
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	概ね目標数値を達成することができたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	<p>①自主防災組織率が上昇し、新たな地域の防災力向上を図ることができた。今後も自主防災組織への補助事業を実施するとともに、市職員による防災出前講座や宇治市防災訓練、地域での防災訓練等への市職員の派遣などにより、自主防災組織率の上昇に努めたい。</p> <p>②防犯カメラの設置等により、犯罪の未然防止を図ることができた。</p>				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
	関連事業との連携効果	通学路危険箇所の安全対策事業を進め、通学中の児童及び一般歩行者等の安全を確保ができた。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	災害復旧の際には、府と情報の共有化を行い連携した活動を行うことができた。
	住民の自治意識を高める成果	定期的な放置自転車撤去や啓発看板を設置するなどの方法で、放置自転車を積極的に撤去する姿勢を示すことで、住民のバリアフリー意識を高めることができ、撤去台数の減少にもつながった。 住民を対象にした啓発活動により住民の自主的な防犯活動を促すことができた。 AEDを設置・維持管理することにより、広く市民に救命処置の知識や救護意識の高揚が図れた。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	市内87カ所のAEDの維持管理を図ることにより、市民の救命率向上を図ることができた。
	行財政改革に資する成果	定期的に放置自転車撤去を行い、撤去した自転車のうち引取りのないものは、売却して有効活用した。
	その他の成果	自転車マナーの向上につながり、安全な歩行者空間の確保による安心な地域づくりを図ることができた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	お茶を中心とした観光・産業等の振興		実施期間	平成27年度	テーマ	その他	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>宇治茶は本市の象徴であり、全国に誇る銘茶の代名詞ともなっているが、全体として緑茶の需要が増えてきているものの、外国産茶葉の輸入や国内産地間競争など、宇治茶を取り巻く状況は厳しくなっている。</p> <p>今後も宇治茶の伝統と名声を保持するため、伝統的な茶製法の継承を図るとともに、生産量の拡大と生産体制の強化、品質の向上や消費の拡大など茶業を中心とした観光業などの取り組みを拡大していく必要がある。</p> <p>また、地域振興・観光振興につながる可能性の高い宇治茶と宇治の歴史・文化について、情報発信が不十分となっていることから、宇治茶を中心とした宇治の魅力について情報発信していく必要がある。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>宇治茶のブランド力の強化を図るため、伝統的な茶製法の継承や生産量の拡大と生産体制の強化、品質の向上や消費の拡大、総合的な情報発信など茶業を中心とした観光業などの振興に取り組む。</p>							
	総事業費（千円）	832,837	本年度事業費（千円）	832,837	交付金額（千円）	56,065		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	宇治川太閤堤跡歴史公園整備事業	交付対象事業	宇治茶と宇治の歴史・文化について総合的に情報発信する拠点施設の整備を行う。			（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園整備遠泳事業に係る用地費史跡宇治川太閤堤跡遺再現パネル製作業務委託ほか （仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園（Aゾーン）整備工事ほか		
	高品質茶推進事業	交付対象事業	宇治茶製法の特徴である「手摘み」「覆下栽培」等の支援と環境にやさしい茶生産を推進する。			手摘み茶推進対策等の実施：32件		
	茶・茶園品評会出品奨励事業	交付対象事業	生産者へ奨励・支援を行う事で、本市の特産である宇治茶の生産技術と品質の向上を図る。			出品点数：85点 入賞点数：40点		
	市営茶室運営事業	交付対象事業	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るため、市営茶室での宇治茶提供・茶道のお点前体験等を実施する。			入席者数：21,632人		
	観光宣伝事業	交付対象事業	市内観光資源の情報発信及び広報活動を行う。			観光パンフレット作成：計50,000部		
	展示会出展支援事業	交付対象事業	市内中小企業者が開発した製品等の展示会出展に対する支援を行う。			助成数：3社		
	商業活力再生支援事業	交付対象事業	宇治商工会議所の商店街ネットワーク事業や地域産品・海外販路開拓事業に対する支援を行う。			販路開拓事業参加事業所：1,597件 商店街活性化事業参加店舗：延480店 講習会参加者：38人		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

	中小企業振興対策事業	交付対象事業	市内商店街・商工業団体が行う活性化対策・施設設置事業等に対する支援を行う。	補助件数：10件
	観光地交通対策事業	交付対象事業	観光ハイシーズンにおける市内の渋滞緩和対策を行う。	臨時駐車場の確保及び誘導員の配置
	市民観光デイ推進事業	交付対象事業	市民に宇治市の良さを周知し、おもてなしの心の醸成を図る。	宇治上神社での夜間拝観及び市内産抹茶の提供
住民協働事業	源氏ろまん事業	交付対象事業	数々の古典文学の舞台となった本市の文化・芸能の継承・発展を図る。	紫式部文学賞：晩鐘 紫式部市民文化賞：太八の青春と死—戦時下の昭和史断章 ひなの川、街を流れて—正家への鎮魂歌 同選考委員特別賞：宇治川川柳 創立五周年記念合同句集 番茶 スタンプラリー 開催日数：5日 踏破者数：17,744人 宇治田楽まつり 観覧者数：2,500人 旅行広報雑誌等、計6媒体に宇治市源氏物語ミュージアムの広告を掲載した。
	市民文化振興事業	交付対象事業	市民平和の集い事業等を通じて、文化の振興を図る。	沖縄への小・中学生平和訪問団派遣、戦争遺品展、平和ひゅうまん夏フェスタ、市民平和祈念集会の実施
住民が取り組む事業				
成果指標①	成果指標の目標数値	茶品評会入賞点数 平成26年度：28点→平成29年度：増加 (中間目標平成27年度：30点)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を上回ったため。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標 ②	成果指標の目標数値	茶品評会出品点数 平成26年度：77点→平成29年度：増加 (中間目標平成27年度：80点)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	茶品評会出品点数：85点
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を上回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標 ③	成果指標の目標数値	市営茶室利用者数 平成26年度：22,335人→平成27年度：20,000人		成果指標の実績値 (平成28年3月31日時点)	平成27年度：21,632人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	市営茶室の利用者数が平成25年度14,259人から平成26年度22,335人に増加したため。平成27年度についても2万人超を維持している。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	①②高品質な宇治茶の生産促進を図ることができた。 ③国内外から多くの利用者が訪れ、宇治茶のPR及び茶道の普及を図ることができた。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果	全国各地から多数の来場者が訪れ、特産品のPRができ、地元産業の振興を図ることができた。また、市営茶室の利用拡大により、茶道を通じて「お茶の京都、宇治」を知っていただくきっかけとなった。また開催にあたり各種団体との連携・協力を行なったが、今後の新たな事業でもその時の団体同士の繋がりを活用していくことができた。			
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府主催による京都ビジネス交流フェアへの出展（1社）を始め、府・市連携による展示会出展企業への助成を通して、地元産業の振興を図ることができた。			
	住民の自治意識を高める成果	商店街等の取組みを通して、地域住民が地元の名産品や伝統工芸などの良さに関心を持つことができるようになるとともに、各々の事業が地域を活性化させ、地元での消費拡大の一端を担っている。			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果	宇治茶のPR等を行うことで宇治茶を中心とした観光振興を図ることができた。今後は「お茶の京都」と連携することで、効果拡大を図る。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園事業に係る用地取得(4,298㎡)を行った。また同事業のAゾーンにおいて、造成工事及び遺構の再現整備等を行った。

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進	実施期間	平成27年度	テーマ	健康	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	近年の少子高齢社会の進展に伴い、家族規模の縮小や地域のつながりの希薄化などにより子育てに対する不安や孤立感が広がっており、他方で団塊の世代の退職に伴う地域社会への参加など地域におけるコミュニティネットワークの醸成が求められている。 そのため、子どもから高齢者まで全ての世代が理解し合い、助け合うことのできる社会の実現に向け、母子保健を初めとする地域との協働による総合的な子育て支援体制の構築を図るとともに、高齢者がいつまでも健康で自立した生活を営むことのできるよう心身とも健康を維持できる取り組みを推進する必要がある。						
プロジェクトの目的及び概要	子どもから高齢者まで、健康で自立した生活が営めるよう、交流の場や学習機会の提供などを通して、地域社会のコミュニティネットワークの醸成を図る。						
	総事業費（千円）	43,920	本年度事業費（千円）	43,920	交付金額（千円）	9,616	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	高齢者アカデミー事業	交付対象事業	高齢者の社会参加と生きがいづくりを目的に、京都文教大学と連携し、大学内で高齢者向けの連続講座を開催する。（2年講座）		受講者数：57名		
	しあわせ子育て・子育て応援事業	交付対象事業	子どもの健やかな成長を支援し、親が安心して子育てできるよう、記念品等とともに子育て情報誌を送付する。弁当が持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供し、生徒の健全な発育を促進する。通常の学級での発達障害を含む障害のある児童・生徒の学習面や生活面での課題の改善を図る。		中学校昼食提供事業の平均利用率実績 （南宇治中：6.1、西小倉中：0.2%、宇治中：0.6%、北宇治中：0.2%、榎島中：1.0%、西宇治中：0.5%、広野中：0.6%、東宇治中：0.4%、木幡中：0.2%、黄檗中：1.2%） 子育て情報誌等の配布又は送付を実施 いきいき学級支援員配置実績 小学校：17校 中学校：9校		
	地域子育てひろば支援事業	交付対象事業	集会所等での地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭と地域住民との子育て支援関係を作り上げる。		新規に1ヶ所開設し、運営した。		
	笠取地区児童クラブ開設事業	交付対象事業	山間部の笠取第二小学校で、地域住民全体で児童クラブを開設するための経費を支援する。		年間57日にわたり、児童の居場所づくり活動が行われ、その運営を補助金により実施した。		
	ボランティアコーディネーター設置事業	交付対象事業	ボランティア団体等の活動に関する相談・調整・広報およびボランティアの要請を行うためのコーディネーターを配置する。		宇治ボランティア活動センター登録数 平成27年度：1,049人（897団体＋個人152人）登録数59増 平成26年度：990人（864団体＋個人126人）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

住民協働事業	スポーツ教室開催事業	交付対象事業	市民の豊かなスポーツライフの充実を図るため、ニュースポーツの普及とスポーツ教室の実施を行う。	ニュースポーツひろば：実施回数35回、参加者延べ1,353名 レッツニュースポーツ：実施回数8回、参加者延べ404名	
	スポーツ大会開催事業	交付対象事業	府立山城総合運動公園で開催する市民スポーツまつりや市民駅伝競争大会など各種スポーツ大会の実施および各種競技大会の補助を行う。	市民スポーツまつり：15,000名 市民駅伝競走大会：参加者210名 市民ファミリーバドミントン大会：参加者111名 市民総合体育大会：参加者延べ10,182名 地域生涯スポーツ振興事業：参加者延べ7,836名 市長杯等各種競技大会補助金：940千円、参加者13,223名 障害者スポーツ大会補助金：340千円、参加者646名 地域体育振興事業補助金：1,500千円、加盟数38,490世帯 スポーツ少年団育成事業補助金：1,100千円、団体数63団体 宇治川マラソン大会記念事業補助金：600千円、参加者2,308名	
住民が取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	スポーツ教室・大会等の参加者数 平成26年度：23,756人→平成29年度：増加 (中間目標平成27年度：41,000人)		成果指標の実績値 (27年度)	市の主催等による各種スポーツ大会、教室、ひろば等 平成27年度：34,869名
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	天候等に左右されるものの、スポーツ実施率の向上を図る上で新規参加者等の課題がある。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	高齢者アカデミー参加者数 平成26年度：43名→平成27年度：73名		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	平成27年度：57名
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	積極的に広報を行ったが、目標数値の達成には至らなかったため、募集要件の見直しを検討する。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	①子どもから高齢者まで多くの市民が参加できる教室・ひろば・大会等を開催することで、目標数値に近い参加者を得ることができた。 ②高齢者アカデミーの開校により、高齢者の交流機会の創出と生きがいの促進を図ることができた。 受講生拡大に向けて、平成28年度より年齢要件を70歳以上から65歳以上に引き下げる予定。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	3か月児健診、1歳8か月児健診の受診児を対象に絵本の配布や中央図書館の絵本ボランティアの協力による絵本の読み聞かせの実施など、親子が絵本を介して触れ合うことにより、子育てが楽しくなるきっかけを作り、健やかな親子の関係づくりを促進する。
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	子どもから高齢者まで多くの市民が参加できる教室・ひろば・大会を開催することで、地域交流の場にもなり、また、交流が深まることで地域が活性化し、自治意識の向上にも寄与している。 ボランティア活動の活性化のため宇治市社会福祉協議会へのボランティアコーディネーターの設置は、本市住民の自主的な地域福祉活動を推進するために必要な事業である。
	リーディング・モデル成果	住民が自主的に進めるボランティアを行政が支援していくことを趣旨とする事業で、今後目指すべき住民と行政との協働の推進モデルとなった。 スポーツ振興計画に基づく、スポーツ実施率を向上させる諸取組みの中核事業であり、スポーツの普及がさらに進み、健康づくり、生きがいづくりにも寄与し、明るく活力あるまちづくりに大きな役割を果たすとともに、豊かなスポーツライフの実現に寄与する。
	広域的波及成果	高齢期にさしかかる団塊の世代を始めとする市民の社会参加や地域活動が活発になっていくことで、今後、地域全体さらには市全体の活性化につながっていくことが期待される。 宇治市社会福祉協議会へのボランティアコーディネーター設置を継続することにより本市のボランティア活動が一層活性化することで、隣接する他市町へもその効果の波及につながった。
	行財政改革に資する成果	来たるべき超高齢社会に備えた新しい事業を開発し、団塊の世代の社会参加を促すことで、団塊の世代のニーズに対応した効率的、効果的な新たな施策の展開へつないでいくことができた。 公民の協働による行政運営のために、ボランティアコーディネーターの果たす役割は重要であり、効率的な行財政運営に資する効果があった。 スポーツ実施率の向上を図り、ストレスや運動不足による成人の生活習慣病などの予防等や子どもの肥満予防など子どもに関わる健全な発育・発達を支える体力・運動機能を確保し、医療費等の抑制につなげる。
	その他の成果	地域住民が開設する「子育てひろば」に運営費等の補助を実施したことにより、交流及び情報交換などによって子育て家庭の支援を促進できた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

プロジェクト名	市民との協働によるまちづくりの推進	実施期間	平成27年度	テーマ	まちづくり	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	社会情勢の大きな変化を背景に市民の方のライフスタイルも大きく変化し、それに伴い地域の課題は多種多様化してきている。これまでのように行政主導ではなく、市民や各種団体などと協働して様々な課題を解決することにより地域に寄り添ったまちづくりの実現を図る必要がある。						
プロジェクトの目的及び概要	高度化、多様化する市民ニーズに対応するため、市民や地域自らが参画、協働して市とともに公共的なサービスの提供に取り組む地域社会の構築を促進する。						
	総事業費（千円）	6,146	本年度事業費（千円）	6,146	交付金額（千円）	2,485	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）	
市町村 実施事業							
住民 協働 事業	まちかどふれあい花だん推進事業	交付対象事業	道路空地や公園の一部を活用し、花壇を整備し、地域住民による維持管理を通して、憩いの場を創設する。			自治会等の団体へ花苗・肥料等の支給：実施花壇数62ヶ所	
	みどりのボランティアコーディネーター設置事業	交付対象事業	植物公園を拠点とし、園芸に興味のある市民を対象としたみどりのボランティアを養成し、市域における緑化力を高める。			ボランティア登録数：84名	
	まちづくり活動支援事業	交付対象事業	地域のまちづくり協議会やまちづくりマイスターの意見交換・交流の場である「うじ井戸端会議」、「地区まちづくり協議会パネル展」を開催する。認定した協議会については、活動支援として「専門家派遣」、「活動費助成」を実施する。			地区まちづくり協議会パネル展の開催：1回 うじ井戸端会議の開催：3回 まちづくり審議会の開催：2回 まちづくり審議会部会の開催：3回 専門家派遣：0回 活動費助成：2件	
住民が 取り組む 事業							
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	まちかどふれあい花だん数 平成27年度62ヶ所の花だんの環境整備		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)		平成27年度：62ヶ所	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標数値を達成できたため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 宇治市

成果指標②	成果指標の目標数値	みどりのボランティア 平成26年度：58名→平成29年度：増加 (中間目標平成27年度：80名)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	84名	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	新規ボランティアを募集・登録したことにより、継続ボランティアと合わせて84名となった。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	①②事業実施により、行政主導でなく市民協働によるまちづくりを図ることができた。					
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果					
	府と市町村等との連携に資する成果					
	住民の自治意識を高める成果					
	リーディング・モデル成果	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成や、その活動を支援することにより、緑化・美化の推進につながる。				
	広域的波及成果	宇治の魅力・ブランド力の向上と効果的・効率的な情報発信に向けた取り組みにより、インバウンド等交流人口の拡大につながることを目的としている。				
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果					

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。